

## ミサの式次第と第一～第四奉献文（会衆用）

### 開祭

#### 入祭の歌

立つ

会衆が集まると入祭の歌を歌う。その間に、司祭は奉仕者とともに祭壇へ行く。祭壇への表敬の後、司祭は席に向かう。入祭の歌が終わると、司祭は会衆に向かって次のことばを唱え、司祭と信者は自分に十字架のしるしをする。

父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

#### あいさつ

司祭は手を広げて、会衆にあいさつする。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

または

父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

または

主は皆さんとともに。（司教が司式する場合 平和が皆さんとともに。）

会衆 またあなたとともに。

#### 回心の祈り

司祭はたとえば次のようなことばで一同を回心へと招く。主日、とくに復活節の主日に、洗礼の恵みを思い起こすために、通常回心の祈りに代えて「水の祝福と灌水」が行われる場合は 36 頁以下に続く。

皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。

#### 回心の祈り 一

短い沈黙の後、一同は手を合わせて頭を下げ、一般告白の式文と一緒に唱える。

全能の神と、

兄弟姉妹の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。  
聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆さん、  
罪深いわたしのために神に祈ってください。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、  
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

---

### 回心の祈り 二

司祭はたとえば次のようなことばで一同を回心へと招く。

皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。

短い沈黙の後、司祭と会衆は次のように唱える。

司祭 主よ、あわれみをわたしたちに。

会衆 わたしたちはあなたに罪を犯しました。

司祭 主よ、いつくしみを示し、

会衆 わたしたちに救いをお与えください。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、  
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

---

### 回心の祈り 三

司祭はたとえば次のようなことばで一同を回心へと招く。

皆さん、聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。

短い沈黙の後、先唱に続いて会衆は次のように唱える。聖書の朗読や典礼暦に合わせて他の先唱のことばに代えることができる。

先唱 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 罪びとを招くために来られたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 父の右の座にあって、わたしたちのためにとりなしてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、  
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

---

### いつくしみの賛歌（キリエ）

いつくしみの賛歌（キリエ）が続く。「回心の祈り 三」を用いた場合は省く。

#### （一）

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 キリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

#### （二）

先唱 キリエ、エレイソン。

会衆 キリエ、エレイソン。

先唱 クリステ、エレイソン。

会衆 クリステ、エレイソン。

先唱 キリエ、エレイソン。

会衆 キリエ、エレイソン。

### 栄光の賛歌（グロリア）

規定に従って、一同は栄光の賛歌（グロリア）を歌うかまたは唱える。

天には神に栄光、

地にはみ心にかなう人に平和。

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

わたしたちは主をほめ、主をたたえ、

主を拝み、主をあがめ、

主の大いなる栄光のゆえに感謝をささげます。

主なる御ひとり子イエス・キリストよ、

神なる主、神の小羊、父のみ子よ、

世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。  
父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。  
ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、  
イエス・キリストよ、  
聖霊とともに父なる神の栄光のうちに。  
アーメン。

#### 集会祈願

司祭は手を合わせたまま言う。

祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

続いて、司祭は手を広げて集会祈願を唱え、会衆は結びにはっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## ことばの典礼

### 第一朗読

座る

朗読者は朗読台に行き、第一朗読を行う。

朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはっきりと唱える。

朗読者 神のみことば。

一同 神に感謝。

続いて、朗読者は聖書に一礼して席に戻る。一同は沈黙のうちに、神のことばを味わう。

### 答唱詩編

詩編唱者あるいは先唱者は詩編を歌うかまたは唱え、会衆は答唱する。

第二朗読が行われる場合、第一朗読と同じように行われる。

### アレルヤ唱（詠唱）

立つ

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

### 福音朗読

助祭あるいは司祭は言う。

主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

〇〇〇による福音。

会衆は助祭あるいは司祭とともに、額、口、胸に十字架のしるしをして、はっきりと唱える。

会衆 主に栄光。

福音朗読が終わると、助祭あるいは司祭は朗読福音書を両手で掲げてはっきりと唱える。

主のみことば。

一同 キリストに賛美。

### 説教

座る

すべての主日と守るべき祝日には説教が行わる。他の日にも勧められる。

### 信仰宣言

立つ

すべての主日と祭日、およびより盛大に祝われる特別な祭儀に、一同は以下のいずれかの信条を歌う

かまたは唱えて信仰宣言を行う。

### ニケア・コンスタンチノーブル信条

わたしは信じます。唯一の神、  
全能の父、  
天と地、見えるもの、見えないもの、  
すべてのものの造り主を。  
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。  
主は神のひとり子、  
すべてに先立って父より生まれ、  
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、  
造られることなく生まれ、父と一体。  
すべては主によって造られました。  
主は、わたしたち人類のため、  
わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となられました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、  
人となられました。  
ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、  
苦しみを受け、葬られ、  
聖書にあるとおり三日目に復活し、  
天に昇り、父の右の座に着いておられます。  
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。  
その国は終わることがありません。  
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。  
聖霊は、父と子から出て、  
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、  
また預言者をとおして語られました。  
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。  
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、  
死者の復活と  
来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

### 使徒信条

天地の創造主、  
全能の父である神を信じます。

父のひとり子、わたしたちの主  
イエス・キリストを信じます。

以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。

主は聖霊によってやどり、  
おとめマリアから生まれ、  
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、  
十字架につけられて死に、葬られ、  
陰府に下り、  
三日目に死者のうちから復活し、  
天に昇って、  
全能の父である神の右の座に着き、  
生者と死者を裁くために来られます。  
聖霊を信じ、  
聖なる普遍の教会、  
聖徒の交わり、  
罪のゆるし、  
からだの復活、  
永遠のいのちを信じます。アーメン。

#### 共同祈願(信者の祈り)

共同祈願すなわち信者の祈りを行う。会衆は各意向の後に応唱もしくは沈黙の祈りをもって祈りを自分のものとする。

司祭の結びの祈りの後に会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 感謝の典礼

### 供えものの準備

座る

ことばの典礼が終わると奉納の歌が始まる。その間に、奉仕者が感謝の典礼に必要なものを祭壇に準備する。信者の代表はパンとぶどう酒、その他の供えものを運ぶ。

司祭は祭壇に行き、パンを載せたパテナを取り、両手で祭壇上に少し持ち上げ、次の祈りを小声で唱える。

神よ、あなたは万物の造り主。  
ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、  
大地の恵み、労働の実り、  
わたしたちのいのちの糧となるものです。

奉納の歌を歌わない場合、司祭はこの祈りをはっきりと唱え、結びに会衆ははっきりと唱えることができる。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

助祭または司祭は、ぶどう酒と少量の水をカリスに注いで静かに唱える。

この水とぶどう酒の神秘によってわたしたちが、  
人となられたかたの神性にあずかることができますように。

司祭はカリスを取り、両手で祭壇上に少し持ち上げ、次の祈りを小声で唱える。

神よ、あなたは万物の造り主。  
ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、  
大地の恵み、労働の実り、  
わたしたちの救いの杯となるものです。

奉納の歌を歌わない場合、司祭はこの祈りをはっきりと唱え、結びに会衆ははっきりと唱えることができる。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

その後、司祭は深く頭を下げ、静かに唱える。

神よ、心から悔い改めるわたしたちが受け入れられ、  
きょう、み前に供えるいけにえも、み心にかなうものとなりますように。



続いて、司祭は祭壇の脇で手を洗い、静かに唱える。

神よ、わたしの汚れを洗い、罪から清めてください。

司祭は祭壇の中央に立ち、会衆に向かって手を広げ、次の招きのことばを述べてから手を合わせる。

皆さん、ともにささげるこのいけにえを、  
全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆は立って答える。

**立つ**

会衆 神の栄光と賛美のため、  
またわたしたちと全教会のために、  
あなたの手を通しておささげするいけにえを、  
神が受け入れてくださいますように。

一同はその後、しばらく沈黙のうちに祈る。

#### 奉納祈願

司祭は手を広げて奉納祈願を唱え、会衆は結びにはっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 奉献文（エウカリスティアの祈り）

司祭は奉献文を始める。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

司祭は叙唱を唱える。

### 感謝の賛歌（サンクトゥス）

叙唱の終わりに、会衆は司祭とともに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌うか、はっきりと唱える。

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

第一奉献文（ローマ典文）…11 頁

第二奉献文…17 頁

第三奉献文…21 頁

第四奉献文…25 頁

## 第一奉献文（ローマ典文）

いつくしみ深い父よ、  
御子わたしたちの主イエス・キリストによって、  
いまつつしんでお願いいたします。

この汚れのない聖なるささげものを受け入れ、✠ 祝福してください。  
わたしたちは、まず聖なる普遍の教会のために、  
これをあなたにささげます。  
全世界に広がる教会に平和を与え、これを守り、  
一つに集め、治めてください。

教皇○○○○、  
わたしたちの司教○○○○、  
また、使徒からの普遍の信仰を正しく伝える  
すべての人のためにこの供えものをささげます。

聖なる父よ、あなたに信頼する人々（○○○○）を心に留めてください。  
また、ここに集うすべての人を心に留めてください。  
その信仰と敬虔な心をあなたはご存じです。  
わたしたちとすべての親しい人々のためにこの賛美のいけにえをささげ、  
あがないと救いと平穩を願って、  
永遠のまことの神、あなたに祈ります。

全教会の交わりの中で、  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、  
栄光に満ちた終生おとめマリアを思い起こし、  
聖ヨセフ、  
使徒と殉教者、  
ペトロとパウロ、アンデレ、  
（ヤコブ、ヨハネ、トマス、ヤコブ、フィリポ、  
バルトロマイ、マタイ、シモンとタダイ、  
リノ、クレト、クレメンس、シスト、  
コルネリオ、チプリアノ、ラウレンチオ、クリソゴノ、  
ヨハネとパウロ、コスマとダミアノ）  
そして、すべての聖人を思い起こします。  
彼らのいさおしと取り次ぎによって、  
わたしたちをいつも守り強めてください。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

---

#### 「全教会の交わりの中で、…」に加える固有式文

##### 主の降誕とその八日間中

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
汚れのないおとめマリアによって  
世に救い主が与えられたこの聖なる夜（日）を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

##### 主の公現

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
栄光のうちにあなたとともに永遠の神であるひとり子が、  
まことの人間として、  
見えるからだをもって現れたこの聖なる日を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

##### 主の晩さんの夕べのミサ

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
主イエス・キリストが、  
わたしたちのために渡されたこの聖なる日を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

##### 復活徹夜祭から復活節第2主日まで

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
主イエス・キリストが、  
まことに復活されたこの聖なる夜（日）を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

##### 主の昇天

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
御ひとり子が人となり、わたしたちの弱さを身に受けて、  
あなたの栄光の右の座に高めてくださったこの聖なる日を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

##### 聖霊降臨

全教会の交わりの中で、わたしたちは、  
聖霊が使徒たちの上に

炎の舌のような形で現れたこの聖なる日を祝います。  
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、……

---

聖なる父よ、  
わたしたち奉仕者とあなたの家族のこの奉献を受け入れてください。  
あなたの平和を日々わたしたちに与え、  
永遠の滅びから救い、選ばれた者の集いに加えてください。  
(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

---

「わたしたち奉仕者とあなたの家族…」に加える固有式文

#### 復活徹夜祭から復活節第2主日まで

聖なる父よ、  
わたしたち奉仕者とあなたの家族のこの奉献を受け入れてください。  
水と聖霊によって新しく生まれ、  
すべての罪のゆるしを受けた人々のためにもこれをささげます。  
あなたの平和を日々わたしたちに与え、  
永遠の滅びから救い、選ばれた者の集いに加えてください。  
(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

---

神よ、この供えものを祝福し、受け入れ、  
み心にかなうまことのいけにえとしてください。  
わたしたちのために、最愛のひとり子、  
主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。

主イエスは受難の前夜、  
聖なる手にパンを取り、  
全能の父、神であるあなたを仰ぎ、  
賛美と感謝をささげ、裂いて、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。  
これはあなたがたのために渡される  
わたしのからだ（である）。」

司祭がホスティアを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。

食事の後に同じように、  
聖なる手に、このとうとい杯を取り、  
賛美と感謝をささげ、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。  
これはわたしの血の杯、  
あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

司祭がカリスを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。  
続いて、司祭は唱える。

信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかをはっきりと唱える。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。  
再び来られるときまで。

または

会衆 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、  
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、  
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、  
わたしたち奉仕者と聖なる民も、  
いま、御子わたしたちの主キリストのとうとい受難、  
死者のうちからの復活、  
栄光に満ちた昇天を記念し、  
あなたが与えてくださったたまものの中から、

清く、聖なる、汚れのないいけにえ、  
永遠のいのちのパンと救いの杯を、  
栄光の神、あなたにささげます。

このささげものをいつくしみ深く顧み、快く受け入れてください。  
義人アベルの供えもの、  
太祖アブラハムのいけにえ、  
また、大祭司メルキセデクが供えた聖なるささげもの、  
汚れのないいけにえを受け入れてくださったように。

全能の神よ、つつしんでお願いいたします。  
このささげものをみ使いによって、  
あなたの栄光に輝く祭壇に運ばせてください。  
いま、この祭壇で、  
御子の聖なるからだと血にあずかるわたしたちが、  
天の祝福と恵みで満たされますように。  
(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

聖なる父よ、  
信仰をもってわたしたちに先だち、  
安らかに眠る人々(〇〇〇〇)を心に留めてください。

神よ、この人々とキリストのうちに眠りについたすべての人に、  
慰めと光と安らぎをお与えください。  
(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

あなたの豊かなあわれみに信頼する罪深いわたしたちを、  
使徒と殉教者の集いに受け入れてください。  
洗礼者ヨハネ、ステファノ、マチア、バルナバ、  
(イグナチオ、アレキサンドロ、マルチェリノとペトロ、  
フェリチタス、ペルペトゥア、アガタ、ルチア、  
アグネス、セシリア、アナスタシア)  
そして、すべての聖人にならう恵みを、  
わたしたちの行いによるのではなく、  
あなたのあわれみによってお与えください。

聖なる父よ、  
キリストによって、あなたは常にこのよいものを造り、

聖なるものとし、これにいのちを与え、祝福し、  
わたしたちに与えてくださいます。

司祭はホスティアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、  
全能の神、父であるあなたに、  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

30 頁の交わりの儀（コムニオ）に続く。



## 第二奉献文

司祭は奉献文を始める。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

聖なる父よ、

最愛の子イエス・キリストを通して、

いっどこでもあなたに感謝をささげることは、

まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはみことばによってすべてをお造りになりました。

みことばである御子は、

救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、

聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、

み旨を果たして、人々をあなたの聖なる民とするために、

手を広げて苦難に身をゆだね、

死を滅ぼして復活の栄光を現してくださいました。

わたしたちは声を合わせて歌います、

天使とすべての聖人とともに、

あなたの栄光をたたえて。

叙唱の終わりに、会衆は司祭とともに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌うか、はっきりと唱える。

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

司祭は手を広げて唱える。

まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、

いま、聖霊を注ぎ、

この供えものを聖なるものとしてください。

わたしたちのために、

主イエス・キリストの御からだ ✕ 御血になりますように。

主イエスはすすんで受難に向かう前に、

パンを取り、

感謝をささげ、裂いて、

弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される

わたしのからだ（である）。」

司祭がホスティアを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。

食事の後に

同じように杯を取り、

感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、

あなたがたと多くの人のために流されて

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

司祭がカリスを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。

続いて、司祭は唱える。

信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかをはっきりと唱える。

**会衆** 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。

再び来られるときまで。

または

**会衆** 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、

あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、  
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、  
わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、  
み前であなたに奉仕できることを感謝し、  
いのちのパンと救いの杯をささげます。

キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、  
聖霊によって一つに結ばれますように。

世界に広がるあなたの教会を思い起こし、  
教皇〇〇〇〇、  
わたしたちの司教〇〇〇〇、  
すべての奉仕者とともに、  
あなたの民をまことの愛で満たしてください。

---

死者のためのミサの場合は、次の祈りを加えることができる。

(きょう) この世からあなたのもとに召された  
〇〇〇〇を心に留めてください。  
洗礼によってキリストの死に結ばれた者が、  
その復活にも結ばれますように。

---

また、復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟姉妹と、  
あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を心に留め、  
あなたの光の中に受け入れてください。  
いま、ここに集うわたしたちをあわれみ、  
神の母おとめマリアと聖ヨセフ、  
使徒とすべての時代の聖人とともに、  
永遠のいのちにあずからせてください。  
御子イエス・キリストを通して、  
あなたをほめたたえることができますように。

司祭はホスティアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、  
全能の神、父であるあなたに、  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

30 頁の交わりの儀（コムニオ）に続く。

### 第三奉献文

司祭は奉献文を始める。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

叙唱の終わりに、会衆は司祭とともに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌うか、はっきりと唱える。

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

司祭は手を広げて唱える。

まことに聖なる父よ、

造られたものはすべて、あなたをほめたたえています。

御子わたしたちの主イエス・キリストを通して、

聖霊の力強い働きにより、

すべてにいのちを与え、聖なるものとし、

たえず人々をあなたの民としてお集めになるからです。

日の昇る所から日の沈む所まで、

あなたに清いささげものが供えられるために。

聖なる父よ、

あなたにささげるこの供えものを、

いま、聖霊によって聖なるものとしてください。

御子わたしたちの主イエス・キリストの

御からだ ✠ 御血になりますように。

キリストのこばに従って、いま、わたしたちはこの神秘を祝います。

主イエスは渡される夜、

パンを取り、

あなたに賛美と感謝をささげ、裂いて、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。  
これはあなたがたのために渡される  
わたしのからだ（である）。」

司祭がホスティアを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。

食事の後に  
同じように杯を取り、  
あなたに賛美と感謝をささげ、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。  
これはわたしの血の杯、  
あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

司祭がカリスを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。  
続いて、司祭は唱える。

信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかをはっきりと唱える。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。  
再び来られるときまで。

または

会衆 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、  
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、  
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、  
わたしたちはいま、  
御子キリストの救いをもたらす受難、復活、昇天を記念し、  
その再臨を待ち望み、  
いのちに満ちたこの聖なるいけにえを  
感謝してささげます。

あなたの教会のささげものを顧み、  
まことの和解のいけにえとして認め、受け入れてください。  
御子キリストの御からだと御血によってわたしたちが養われ、  
聖霊に満たされて、  
キリストのうちに、一つのからだ、一つの心となりますように。

聖霊によってわたしたちを、  
あなたにささげられた永遠の供えものとしてください。  
選ばれた人々、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、  
使徒と殉教者、(聖〇〇〇〇、)  
すべての聖人とともに神の国を継ぎ、  
その取り次ぎによってたえず助けられますように。

わたしたちの罪のゆるしとなるこのいけにえが、  
全世界の平和と救いのためになりますように。  
地上を旅するあなたの教会、  
教皇〇〇〇〇、  
わたしたちの司教〇〇〇〇、  
司教団とすべての奉仕者を導き、  
あなたの民となったすべての人の信仰と愛を強めてください。  
あなたがここにお集めになったこの家族の願いを聞き入れてください。  
いつくしみ深い父よ、  
あなたの子がどこにいても、すべてあなたのもとに呼び寄せてください。

† 亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、  
また、み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、  
あなたの国に受け入れてください。  
わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、  
喜びに満たされますように。  
わたしたちの主イエス・キリストを通して、  
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。 †

司祭はホスティアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、  
全能の神、父であるあなたに、  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

---

死者のためのミサがささげられる場合は、次の祈りを唱えることができる。

†(きょう、) この世からあなたのもとに召された  
〇〇〇〇を心に留めてください。  
洗礼によってキリストの死にあずかった者が、  
その復活にもあずかることができますように。

キリストは死者を復活させるとき、  
滅びゆくわたしたちのからだを、  
ご自分の栄光のからだに変えてくださいます。

また、亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、  
み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、  
あなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、  
喜びに満たされますように。

そのときあなたは、わたしたちの目から涙をすべてぬぐい去り、  
わたしたちは神であるあなたをありのままに見て、  
永遠にあなたに似るものとなり、  
終わりなくあなたをたたえることができますのです。  
わたしたちの主イエス・キリストを通して、  
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。 †

---

30 頁の交わりの儀（コムニオ）に続く。



## 第四奉献文

司祭は奉献文を始める。

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

聖なる父よ、

あなたの偉大なわざをたたえ、感謝をささげることは、  
まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたは唯一のまことの神、

初めもなく終わりもなく、すべてを超えて光り輝くかた。

あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。

造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、

栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。

わたしたちはこれに声を合わせ、

造られたすべてのものとともに、あなたをたたえて歌います。

叙唱の終わりに、会衆は司祭とともに感謝の賛歌（サンクトゥス）を歌うか、はっきりと唱える。

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満ち。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父、偉大な神よ、あなたをたたえます。

あなたは、英知と愛によってすべてのわざを行われました。

ご自分にかたどって人を造り、

造り主であるあなたに仕え、造られたものをすべて治めるよう、

全世界を人の手におゆだねになりました。

人があなたにそむいて親しい交わりを失ってからも、  
死の支配のもとにおくことなく、  
すべての人があなたを求めて見いだすことができるよう、  
いつくしみの手を差し伸べられました。  
また、たびたび人と契約を結び、  
預言者を通して、救いを待ち望むよう励ましてくださいました。

時が満ちると、あなたはひとり子を救い主としてお遣わしになりました。  
聖なる父よ、あなたはこれほど世を愛してくださったのです。  
御ひとり子は聖霊によって人となり、  
おとめマリアから生まれ、  
罪のほかは、  
すべてにおいてわたしたちと同じものとなりました。  
貧しい人には救いの福音を告げ、  
とらわれ人には自由を、  
悲しむ人には喜びをもたらし、  
あなたの計画を実現するため、  
死に身をゆだね、  
死者のうちから復活して死を滅ぼし、  
いのちを新しくしてくださいました。

わたしたちが自分に生きるのではなく、  
わたしたちのために死んで復活されたキリストに生きるために、  
父よ、御子は信じる者に最初のたまものとして  
あなたのもとから聖霊を遣わしてくださいました。  
聖霊は、世にあってキリストの救いを全うし、  
聖なるものとするわざをすべて完成してくださいます。

いつくしみ深い父よ、  
聖霊によってこの供えものを聖なるものとしてください。  
キリストが永遠の契約としてわたしたちに残された  
この偉大な神秘を祝うために、  
主イエス・キリストの  
御からだと ✠ 御血になりますように。

聖なる父よ、  
世にいる弟子を愛しておられたイエスは、  
あなたから栄光を受ける時が来たことを知り、

彼らを限りなく愛されました。

主イエスは、  
食事をともにする間にパンを取り、  
賛美をささげ、  
裂いて、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。  
これはあなたがたのために渡される  
わたしのからだ（である）。」

司祭がホスティアを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。

同じように  
ぶどう酒の満ちた杯を取り、感謝をささげ、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。  
これはわたしの血の杯、  
あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

司祭がカリスを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。  
続いて、司祭は唱える。

信仰の神秘。

会衆は以下のいずれかをはっきりと唱える。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。  
再び来られるときまで。

または

会衆 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、  
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または

会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、  
わたしたちをお救いください。

司祭は手を広げて唱える。

聖なる父よ、  
わたしたちはいま、あがないの記念をともに行い、  
キリストの死と、陰府に下られたことを思い起こし、  
その復活と、あなたの右に上げられたことを宣言します。  
主が栄光のうちに来られる日を待ち望み、  
あなたに受け入れられ、全世界の救いとなるこのいけにえ、  
キリストの御からだと御血をささげます。

父よ、  
あなたが教会にお与えになったこのいけにえを顧み、  
この一つのパンと杯を分かち合うすべての人を、  
聖霊によって一つのからだに集めてください。  
キリストのうちにあって、  
あなたの栄光をたたえる生きたささげものとなりますように。

父よ、  
すべての人を心に留めてください。  
その人々のために、この供えものをささげます。  
教皇〇〇〇〇をはじめ、  
わたしたちの司教〇〇〇〇、  
司教団とすべての奉仕者、  
ここに集う人々、  
あなたの民と、神を求めるすべての人、  
また、キリストを信じて亡くなった人、  
あなただけがその信仰を知っておられる  
すべての死者を心に留めてください。

いつくしみ深い父よ、  
あなたの子であるわたしたちすべてを顧み、  
神の母おとめマリアと聖ヨセフ、  
使徒と聖人とともに、  
あなたの国で、約束されたいのちにあずからせてください。  
その国で、罪と死の腐敗から解放された宇宙万物とともに、  
主キリストによって、あなたの栄光をたたえることができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストを通して、  
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

司祭はホスティアを載せたパテナとカリスを手に取り、高く掲げて唱える。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、  
全能の神、父であるあなたに、  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

会衆ははっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 交わりの儀（コムニオ）

### 主の祈り

司祭は、たとえば次のようなことばで会衆を主の祈りに招く。

主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

会衆は司祭とともに唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

司祭は手を広げたまま一人で続ける。

いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、

世界に平和をお与えください。

あなたのあわれみに支えられて、罪から解放され、

すべての困難に打ち勝つことができますように。

わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

会衆ははっきりと唱える。

会衆 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。

### 教会に平和を願う祈り

司祭は手を広げてはっきりと唱える。

主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。

「わたしは平和を残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」

主よ、わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を顧み、

おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。

あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々としえに。

会衆 アーメン。

## 平和のあいさつ

司祭は会衆に向かって手を広げ、次のことばを述べる。

主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

状況に応じて、助祭または司祭は次のように続ける。

互いに平和のあいさつを交わしましょう。

一同は平和と一致と愛を示すために、地域の慣習に従って互いにあいさつを交わす。

日本では手を合わせ、「主の平和」と言って互いに礼をすることができる。

## パンの分割

司祭はホスティアを取ってパテナの上で裂き、小片をカリスの中に入れて、静かに唱える。

いま、ここに一つとなる主イエス・キリストの御からだと御血によって、わたしたちが永遠のいのちに導かれますように。

パンが裂かれている間に、平和の賛歌（アニュス・デイ）を歌うか、または唱える。

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。

パンを裂くために時間がかかる場合、何度か繰り返すことができる。最後に「平和をわたしたちに」で結ぶ。

## 拝領

司祭は静かに唱える。

生ける神の子、主イエス・キリスト、

あなたは父のみ心に従い、聖霊の力に支えられ、

死を通して世にいのちをお与えになりました。

この聖なるからだと血によってすべての罪と悪からわたしたちを解放し、

あなたのおきてをいつも守り、

あなたから離れることのないようにしてください。

または

主イエス・キリスト、

あなたの御からだと御血をいただくことによって、  
裁きを受けることなく、  
かえってあなたのいつくしみにより、  
心とからだを守られ、強められますように。

司祭は手を合わせて深く札をしてから、ホスティアを取り上げ、パテナあるいはカリスを添えて、会衆に向かってはっきりと唱える。

世の罪を取り除く神の小羊。  
神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。

会衆は司祭とともに以下のいずれかを唱える。

主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。  
おことばをいただくだけで救われます。

または

主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、  
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

司祭は祭壇に向かい、静かに唱える。

キリストの御からだ、永遠のいのちの糧になりますように。

そしてキリストの御からだを拝領する。

司祭がキリストの御からだを拝領している間に、拝領の歌を始める。

続いて、司祭はカリスを手に取り、静かに唱える。

キリストの御血が、永遠のいのちの糧になりますように。

そしてキリストの御血を拝領する。

その後、司祭は拝領者に近づき、ホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

拝領者はホスティアを受けると、すぐにすべてを拝領して席に戻る。

---

## 御血の拝領

御血をカリスから拝領する場合、司祭は「キリストの御血」と言い、拝領者は「アーメン」と答えて



カリスを受け取り、拝領する。

両形態による拝領の場合、司祭はホスティアを御血に浸し、拝領者に示して「キリストの御からだと御血」と言い、拝領者は「アーメン」と答えて口で拝領する。

---

## 座る

聖体の授与が終わると、司祭はパテナをふき、カリスをすすぐ。その間に、司祭は静かに唱える。

主よ、口でいただいたものを清い心をもって受け入れることができますように。  
このたまものによって、永遠のいのちに導かれますように。

拝領後、一同はしばらく沈黙のうちに祈る。

適当であれば、詩編か他の賛美の歌、もしくは賛歌を歌うことができる。

## 拝領祈願

## 立つ

司祭は祭壇または自分の席で会衆に向かって立ち、手を合わせて言う。

祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。続いて、司祭は手を広げて拝領祈願を唱え、会衆はその結びにはっきりと唱える。

会衆 アーメン。

## 閉祭

必要があれば、会衆への短いお知らせが行われる。

続いて派遣の祝福が行われる。司祭は会衆に向かって手を広げて言う。

主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭は会衆を祝福して唱える。

全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✕ 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

一定の日や状況によっては、上記の祝福のことばの前に、典礼注記に従って他のより荘厳な祝福、あるいは「会衆のための祈願」が行われる。

---

司教が司式するミサでは、司式司教はミトラを着け、手を広げて唱える。

司教 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司教 主のみ名がいつもたたえられますように。

会衆 いまよりとこしえに。

司教 主のみ名はわたしたちの助け。

会衆 主は天地の造り主。

司教 全能の神、父と ✕ 子と ✕ 聖霊の ✕ 祝福が皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

---

助祭または司祭は手を合わせて会衆に向かって言う。

感謝の祭儀を終わります。

行きましょう、主の平和のうちに。

または

(感謝の祭儀を終わります。)

行きましょう、主の福音を告げ知らせるために。

または

(感謝の祭儀を終わります。)

平和のうちに行きましょう、日々の生活の中で主の栄光をあらわすために。

会衆 神に感謝。

開祭と同じように、司祭は奉仕者とともに祭壇に表敬してから退堂する。

他の祭儀が続く場合、派遣の式は省かれる。

## 水の祝福と灌水

通常の回心の祈りの代わりに行われる場合、司祭はあいさつの後、自席で立って会衆に向かい、たとえば次のようなことばで会衆を祈りに招く。

皆さん、神によって造られたこの水が祝福されるよう祈りましょう。  
この水は、洗礼の恵みを思い起こすために、わたしたちの上に注がれます。  
わたしたちが聖霊の導きに従って生きることができますように。

しばらく沈黙のうちに祈った後、司祭は手を合わせて以下の祈りを唱える。

全能永遠の神よ、  
あなたは水を造り、  
すべてにいのちを与え、清めてくださいます。  
この水によって、わたしたちの心は罪から清められ、  
永遠のいのちの恵みに満たされます。  
いま、この水を祝福 ✕ してください。  
わたしたちのうちにいのちの泉をわき出させ、  
心とからだをあらゆる悪から守ってください。  
清い心でみもとに近づき、  
救いの恵みにふさわしくあずかることができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
会衆 アーメン。

または

いのちの源である神よ、  
あなたは心とからだを生かしてくださるかたです。  
いま、この水を祝福 ✕ してください。  
信仰をもってこの水を用いるわたしたちの罪をゆるし、  
すべての病と悪の誘惑からお守りください。  
神よ、あなたのあわれみによって、  
救いをもたらすいのちの水を、  
いつもわたしたちのうちにわき出させてください。  
あらゆる危険から守られ、  
清い心でみもとに近づくことができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
会衆 アーメン。

## 復活節に

全能の神よ、  
ここに集うあなたの民の祈りを聞き入れてください。  
わたしたちは創造とあがないの神秘を思い起こします。  
いま、この水を祝福 ✕ してください。  
あなたは水を造り、大地を潤して豊かに実らせ、  
すべてを清め、養ってくださいました。  
あなたはまた、水によっていつくしみを示してくださいました。  
イスラエルの民は海を渡って解放され、  
荒れ野では渴きをいやされ、  
あなたが人と結ぼうとされた新しい契約を、  
預言者は水の働きによって告げ知らせ、  
キリストはヨルダン川で水を清められました。  
神よ、こうしてあなたは、  
罪によって死に定められた人間を、  
新しいいのちに導いてくださいます。  
わたしたちがこの水によって自らの洗礼を思い起こし、  
復活祭に洗礼を受けた人々とともに、  
喜びを分かち合うことができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
会衆 アーメン。

聖水に塩を混ぜることが適当と思われるなら、司祭は任意で塩を祝福することができる。

全能の神よ、  
この塩を祝福 ✕ してください。  
預言者エリシャは水に塩を混ぜて水を清めました。  
この塩と水が注がれる所はどこでも、  
あらゆる悪が退けられ、  
そこにとどまる聖霊によってわたしたちが守られますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
会衆 アーメン。

司祭は沈黙のうちに少量の塩を聖水に混ぜる。

司祭は奉仕者と会衆に灌水する。適当なら教会堂内を回って灌水し、その間、ふさわしい歌を歌う。  
司祭は席に戻り、歌が終わると会衆に向かって立ち、手を合わせて唱える。

全能の神が、わたしたちを罪から清め、  
この感謝の祭儀を通して、  
天の国の食卓にあずかる恵みを与えてくださいますように。

会衆 アーメン。

または

全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、  
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

続いて、定められているなら、一同は3頁の栄光の賛歌（グロリア）を歌うか唱える。

©日本カトリック典礼委員会 2021年11月24日